

バレイショにおけるアブラムシ類の発生活長

佐藤 利朗・芦立 正雄・大沢 守一・佐藤 力郎

(福島県農業試験場)

Seasonal Abundance of Three Aphids, *Myzus persicae* SULZER, *Aphis gossypii* GLOVER and *Acyrtosiphon solani* KALTENBACH on Potato
Toshiro SATO, Masao ASHITATE, Shuichi OHSAWA and Rikio SATO
(Fukushima Prefecture Agricultural Experiment Station)

1 はじめに

バレイショ *Solanum tuberosum* L. に寄生するワタアブラムシ *Aphis gossypii* の発生飛来源を検討するため、1986～1987年に主要越冬寄主と推定されるオオイヌノフグリ *Veronica persica* poir, ナズナ *Capsella Bursa-pastoris*, ムクゲ *Hibiscus casyriacus* についてワタアブラムシの越冬状況調査を行った。ナズナではワタアブラムシの越冬個体数が少なく、3月ころになると植物体が枯れ上がること、ムクゲでは10月下旬に産卵雌虫の飛来が確認され、産卵が認められるが、2月上旬になると卵が消失したことから、ナズナ、ムクゲはワタアブラムシの越冬に不適当であると思われる。一方、オオイヌノフグリではワタアブラムシの越冬個体数が多かった。

そこで、オオイヌノフグリからバレイショへのワタアブラムシの移動経過を明らかにするため、1988年にオオイヌノフグリにおけるワタアブラムシの越冬経過とバレイショへの飛来時期の関係を検討し、併せて、バレイショにおけるアブラムシ類の防除適期を検討するため、モモアカアブラムシ *Myzus persicae* SULZER, ワタアブラムシ, ジャガイモヒゲナガアブラムシ *Acyrtosiphon solani* KALTENBACH の発生活長を調査した。

2 試験方法

(1) オオイヌノフグリにおけるワタアブラムシの寄生状況調査

1987年10月～1988年5月に福島県農業試験場内のオオイヌノフグリ15群落(1群落当り4茎)のワタアブラムシ寄生虫数をほぼ5日ごとに調査した。

(2) バレイショ(成育初期)におけるワタアブラムシ有翅成虫の飛来状況調査

1988年にバレイショ(品種:男爵,播種:3月28日)20株のワタアブラムシ有翅成虫寄生数を萌芽始期(4月20日)から開花期(5月30日)までほぼ5日ごとに調査した。

(3) バレイショにおけるアブラムシ類の発生活長調査

1988年にバレイショ20株(1株当り1茎)のアブラムシ類の寄生虫数を萌芽始期(4月20日)から枯凋期(7月20日)までほぼ5日ごとに調査した。

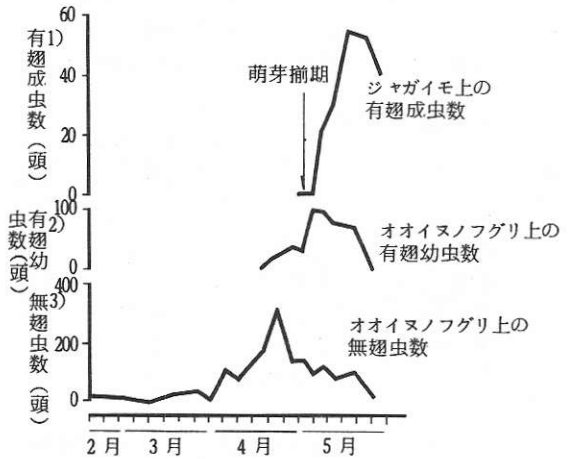


図1 バレイショ及びオオイヌノフグリ上のワタアブラムシ数

注. 1): 20株の総有翅成虫数
2)・3): 15群落(各群落当り4茎)の総虫数

3 結果及び考察

(1) ワタアブラムシのオオイヌノフグリにおける越冬状況とバレイショへの飛来状況(図1)

オオイヌノフグリには、無翅成虫・幼虫が3月上旬まで低密度で生息し、その後、徐々に密度は高まり4月中旬にピークとなった。有翅幼虫は4月中旬から出現しはじめ、5月上旬に最高になった。このことから、5月上旬～中旬にオオイヌノフグリから次の寄主へのワタアブラムシの移動が盛んになると考えられた。

一方、バレイショのワタアブラムシ有翅成虫の飛来は萌芽摘期の4月25日ころから認められ、5月中旬に最高となった。

このように、オオイヌノフグリでの有翅虫発生時期とバレイショでの有翅成虫飛来時期が合致することから、バレイショに飛来するワタアブラムシ有翅成虫は、オオイヌノフグリ由来のものが多数含まれると考えられた。

(2) バレイショにおけるアブラムシ類の発生活長(図2)
バレイショにはモモアカアブラムシ, ワタアブラムシ,

ジャガイモヒゲナガアブラムシ、3種の有翅成虫の飛来が5月上旬～中旬にみられた。これら有翅虫のバレイショへの飛来・定着により無翅成虫・幼虫は5月中旬から出現し6月上旬に密度が最高になった。更に、バレイショでの無翅成虫・幼虫の密度上昇とともに、これら3種の有翅幼虫

は6月中旬に出現しはじめ、有翅成虫は6月中～下旬にピークとなった。

このことから、バレイショ圃場におけるアブラムシ類の防除適期は有翅成虫が5月中旬に飛来・定着した後、無翅虫が増殖する5月下旬～6月上旬と考えられた。

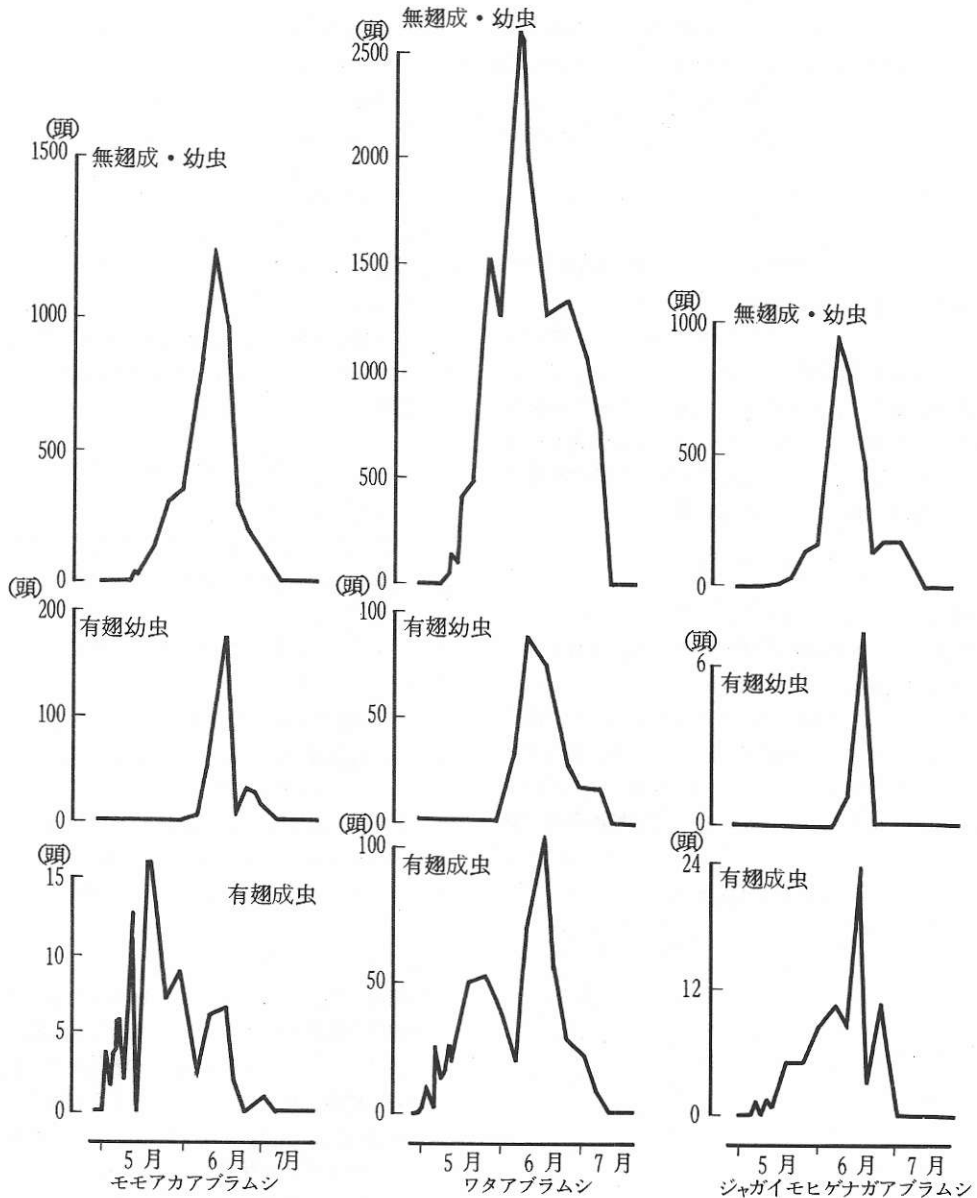


図2 ジャガイモ上のアブラムシ類の寄生状況 (寄生虫数/20株)

4 ま と め

(1) オオイヌノフグリはバレイショへ飛来するワタアブ

ラムシの越冬源として重要であると考えられた。

(2) バレイショでのアブラムシ類の防除適期は無翅虫の密度上昇期に当る5月下旬～6月上旬と考えられた。